

Tidings of flowers

2026年(令和8年)9月25日 福山市立山手小学校

はね踊り体験(6年)

9月2日(水)と18日(金)の2回にわたり、6年生が「山手はね踊り」について学びました。講師としてお越しくださったのは、山手はね踊り保存会のみなさまです。

1回目の学習では、はね踊りの歴史等について教えていただきました。はね踊りは、初代福山藩主・水野勝成公が奨励したことをきっかけに広まったと言われています。太鼓を手に持って踊ったり、太鼓を地面に据えて打ち付ける据え打ちがあったりするののはね踊りの特徴の一つです。地域に長く受け継がれてきた踊りですが、近年は参加する小学生も少なくなっているそうです。だからこそ、こどもたちにはね踊りを知ってほしい、できれば地域のお祭りなどにも参加してほしいという保存会のみなさまの願いが伝わってきました。

2回目の18日には、交流館の講義室で、実際にはね踊りを体験しました。鐘や笛の音に合わせて太鼓を打ち、掛け声をかけながら、みんなで輪になって踊りました。前回の学習会で学んだはね踊りを、今度は自分たちの体を動かして味わう時間となりました。

地域で大切に受け継がれてきたものは、そこに暮らす人々の思いや願いとともにあります。今回の学習を通して、6年生が「知る」「やってみる」ことで、山手の地域に受け継がれてきた文化をより身近に感じる事ができたのではないかと思います。

保存会のみなさま、2回にわたり、貴重なお話と体験の機会をありがとうございました。



さー参ろーや!
さー参ろーや!
ここーこっこ
い!

